

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 2 部門第 5 区分
【発行日】 平成 18 年 11 月 2 日 (2006.11.2)

【公開番号】 特開 2005-262996 (P2005-262996A)
【公開日】 平成 17 年 9 月 29 日 (2005.9.29)
【年通号数】 公開・登録公報 2005-038
【出願番号】 特願 2004-77109 (P2004-77109)
【国際特許分類】

B 6 0 T 17/18 (2006.01)

B 6 0 T 17/02 (2006.01)

【F I】

B 6 0 T 17/18

B 6 0 T 17/02

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 9 月 16 日 (2006.9.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 請求項 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【請求項 2】

請求項 1 記載の車両の制動制御装置において、

前記ポンプ駆動手段はモータであって、モータのロック状態を検出するモータロック検出部を備え、

前記ブレーキ液圧制御手段は、モータのロック状態を検出する前に、前記ポンプ駆動手段に対し、前記所定時間駆動する指令を出力することを特徴とする車両の制動制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 5 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 5 3】

また、ポンプ 10、11 はモータによって駆動され、低温時には通常のブレーキ液圧制御時よりもモータ 10、11 の駆動デューティを低く（本願実施例では A %）することとした。これにより、ブレーキ液温上昇制御時の騒音を低減できる。